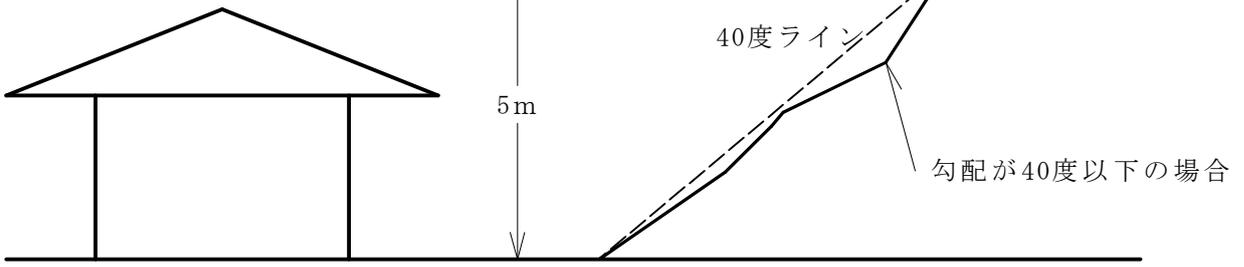


第四号（イ）に該当

宅地造成等規制法により擁壁の設置を要しない場合

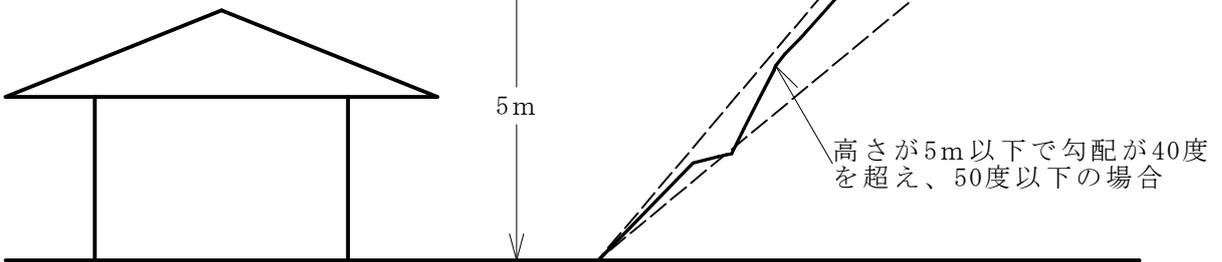
(土質が風化の著しい岩の場合)



第四号（ロ）に該当

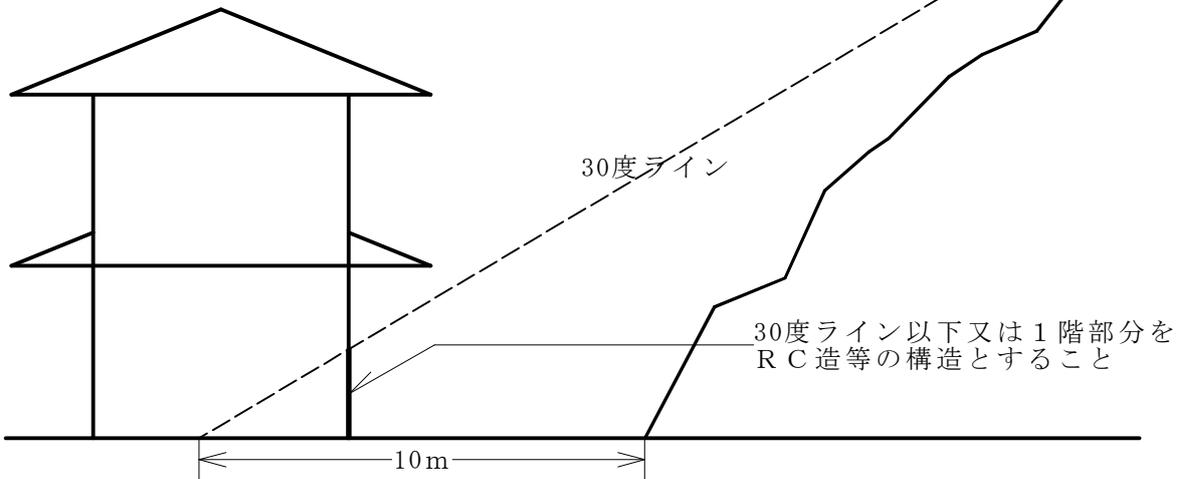
宅地造成等規制法により擁壁の設置を要しない場合

(土質が風化の著しい岩の場合)



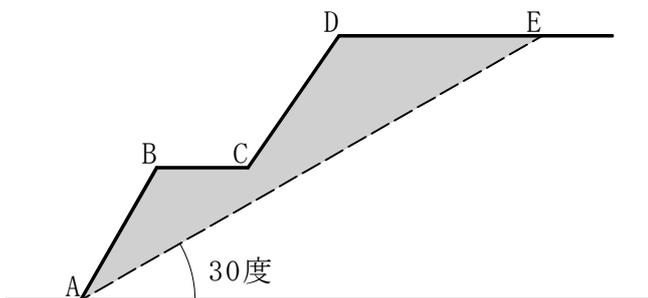
第六号（ロ）に該当

建築物の外壁を鉄筋コンクリート造等の構造とする場合

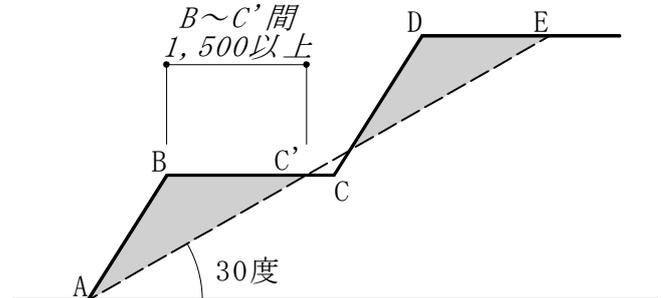


(がけの定義)

地表面が水平面に対し30度をこえる角度をなす土地で、硬岩盤（風化の著しいものを除く。）以外のものをいい、がけ面とはその地表面をいいます。なお、小段等によって上下に分離されたがけがある場合において、下層のがけ面の下端を含み、かつ水平面に対し30度の角度をなす面の上方に上層のがけ面の下端があるときは、その上下のがけは一体のものとみなします。



(一体のがけとみなす)



(別々のがけとみなす)